

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年5月20日

学校法人ニューライフ学園

報告者 角和麻衣子

## 1. 本園の教育目標

- ① 豊かな自然環境の下、遊びを中心とした主体的な創造活動（体験）を通して、子どもが生涯にわたる幸福に向かうための基礎能力（コンピテンシー）を育む
- ② 子どもを取り巻く環境としての、家庭・教員・地域住民（市民）たちが生涯にわたって、発達（進化）をとげて行くための機会を共創する

上記2つの使命を果たすため、以下のカテゴリからアプローチしています。

【3つのアプローチ】 1. 社会貢献 2. 教育の研究 3. 人を創る

## 2. 具体的な保育指針

- ① 多様な体験の中で子どもの主体性と創造性を育む
- ② 個を育成し、社会集団において自己発揮する姿を支援する
  - ・ 伝統ある探究活動（自由保育）
  - ・ 子どもに優しい環境・施設
  - ・ 科学的根拠のある教育支援

## 3. 三ヵ年計画

2024年	<p>&lt;メインテーマ：新しい制度（令和5年度こども家庭庁発足）に即した園運営（3年目）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 施設型給付の幼稚園への移行と給付申請システムの実装</li><li>② 会議の確立と部門リーダー育成（会議の内容を精査し部門リーダーを設置する。省察の方法をPDCAからOODA（観察→状況判断→意思決定→行動と改善）へ変えていく。）</li><li>③ 園内のDX化促進（Google-Educationの実装）</li><li>④ 子どもの主体性を育む保育スキル指標の活用（保育、配慮児支援の2層の専門領域からなる指標）</li><li>⑤ 保育・預かり保育・学童のそれぞれの実践を可視化（ドキュメンテーションの導入）して共有</li><li>⑥ 要配慮児を包摂する保育と対処データ（記録：言語・視覚データ（映像））の蓄積・活用</li><li>⑦ 園内研修制度の確立</li><li>⑧ 2歳児保育の研究（2歳預かり受け入れ事業スタート）</li><li>⑨ 育児支援活動1「お子さんの強みを活かす会」の継続 ※科研費研究（筑波大学）3年目</li><li>⑩ 育児支援活動2「ニューライフに遊びに来ませんか」を新設 ※5月～8月、未就園児向け</li><li>⑪ 課外活動：英語で遊ぼう（2024～）、アートで遊ぼう（検討中）、リズムで遊ぼう（検討中）</li><li>⑫ 国際バカロレア教育機構申請へ向けた準備活動（IB園見学、研修の試し受講など）</li></ul>
2025年	<ul style="list-style-type: none"><li>① 目指す教員像の言語化（教員のキャリア成長体系を言語化）</li><li>② 保育の質の向上1（保育実践、配慮が必要なお子さんの支援の2層支援を確立）</li><li>③ 保育の質の向上2（不適切な保育・適切な保育を知る）</li><li>④ 国際バカロレア教育機構申請へ向けた準備活動（2024～）</li></ul>
2026年	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国際バカロレア教育機構申請</li><li>・ 配慮が必要なお子さんとその家族支援を専門領域とする組織の確立</li></ul>

#### 4. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育の質向上のための、園内研修及び会議の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法について教員にとって役立つ法知識の園内研修（オンデマンド1回）</li> <li>・配慮の必要な子どもに関する研修（巡回）</li> <li>・保育部門 - 預かり部門 - 学童部門での会議を確立（3部会議）</li> </ul>
2	2歳児・満3歳児保育の実践と研究	A	2歳児保育の2年目の実践を経験しデータ化し蓄積した。
3	施設型給付の幼稚園への移行準備	A	新制度移行に関する準備を行い2024年4月1日から施設型給付の幼稚園としてスタートした。
4	学校評価（保護者・教職員）	公表	学校評価アンケート調査を実施し、理事会を経たのちHP上で公開（数値および本報告書）予定。
5	園内ペアレントトレーニング制度の確立 ※科研費研究（作新学院大学）2年目	A	2023年6月に国際認知行動療法学会(WCCBT2023)で「お子さんの強みを活かす会」の活動内容を発表し、多くの支持を得た。

#### 5. 総合的な評価結果

評価	理由
A	5つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、①保育部門、預かり保育部門、学童部門の3部門による会議を確立できた。加えて3部連携による子どもへの手厚く温かな見守りを実現することが叶った。②2歳児保育の土台構築ができた、③施設型給付園への移行が叶い教職員の処遇改善へ向け前進した、④学校評価を実施し保育の質の向上につながる具体的な対策を検討できた、⑤園内において2つの専門領域の連携（第1層：保育実践、第2層：配慮児支援）の土台構築が叶った

#### 6. 2024年度に取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育現場で完成させた保育スキル項目について論文として完成させる	※投稿中
2	目指す教員像の言語化（キャリア成長体系を言語化）	研修（園内・園外）、役割や役職（学年チーフ、部門リーダーや管理職など）、経験年数、目指す教員像（学園の哲学）などを踏まえた、教員のキャリア成長図を明確にし、言語化し、実装（継続）させる。
3	国際バカロレア教育機構申請に関する調査・検討	継続
4	学校評価	継続

※7. 学校関係者評価委員会の評価：2024年5月理事会で行う予定

	ご意見など	回答
1	卒園児の上の子は学校でもとても良い評価をしてもらえているので、幼稚園での経験が良かったと思っています。これからも素晴らしい教育の場を提供し続けていただければと思います。	有難うございます。私たちは子どもたちの生涯にわたる幸福を願い、日々の教育を行っています。お言葉を励みにこれからも精進して参ります。
2	素晴らしい園です。普段の生活の中では気が付かない事を自然に学べます。壁に当たった時に、ふと先生方が言っていた事が分かるようになりました。これに気が付かない人もいませんか。とても深いです。この素晴らしい立地、遊具、それだけでも満足ですが更に、生き物や植物に触れる機会も多く、恵まれた環境で遊びながら学ぶ事が出来るのは他にはなかなかないかと思えます。選んで良かったです。	有難うございます。子どもたちを取り巻く環境には2つの観点があります。1つは教員をはじめとする大人たち、2つめは広大な自然環境や木材で造られた施設といった物的環境です。とくに前者を代表する私たち教員は、子どもの将来に大きな影響を与えと言われております。保育者としての使命感と責任を重く受け止めつつ、日々の小さな生活を大切に丁寧に楽しみながら過ごせるよう心掛けています。
3	ドキュメンテーション（写真付き）が週一、もしくは月一であるとよりクラスのことを知ることができるのではないかと…写真に軽いコメントのほうが読みやすいしわかりやすいと思います。デジタル化をもう少し推奨しても良さそうな気がします。	今年度よりドキュメンテーションによる保育内容の共有に挑戦しています。またご意見や感想をお聞かせいただけますと有難いです。
4	保育参加(焼き芋)のとき、先生方の手間を減らしたり合理性を求めるよりも、子どもたちの体験を優先したプログラムづくりに感動しました。ニューライフ幼稚園の理念を信頼していますし、学びも多いです。	幼少の頃の体験・経験は記憶となり、その後の私たちの人生に影響を与えます。子どもたちがこれから生きていく上で、心の支えとなり、力添えとなるような経験ができるよう、日々工夫して参ります。
5	樹木が高齢であると伺い、樹木医等にみて頂いているのが気になっております。	以前は樹木医に松の木の状態を見て頂き、松の木は元気な状態であると診断頂いていました。しかし近年は行っていませんのでまた依頼を再開しようと思えます。
6	日々幼稚園での様子が分からないのでキッズリーを利用し、写真を配信してほしい。（エルマー利用）	今年度よりドキュメンテーションによる保育内容の共有に挑戦しています。またご意見や感想をお聞かせいただけますと有難いです。
7	ニューライフマンションから園までの移動が園児にとってやや大変なのは(特に夏休み中の暑い時期)と感じます。	夏の長期休暇中の預かり保育運営について現在検討中でございます。検討している内容は以下の通りです。①年中児の午睡について、②弁当給食の注文について、③猛暑時のバス送迎について。※②弁当給食の注文に関し業者の都合により実施が叶わなかったという経緯があります。この点について再度交渉する予定でございます。
8	とても良い幼稚園だと思いますが、その良さが入園して2年3年経ってようやくよく見えてくる感じでした。コロナ禍だったこともあるかもしれませんが…良さがもっと早く伝わるともっと早く安心できたし、これから入園希望している人にもいいのになと感じました。	ニューライフの良さが、多くの方々に伝わるよう、努力してまいります。また保護者様におかれましては、日頃より、口コミ（Google口コミなど）や保護者の集い（コミュニティ）などでニューライフの良さを伝えていただき、誠に感謝申し上げます。
9	エルマーでの対応がいつも優しく、とても親切。どの先生も素晴らしい対応。朝は笑顔で迎えてくれて、子どもがすぐ笑顔になりとても安心できる。お迎えにいくと、いつも全力で子どもと遊んで相手をしてきている。共働きの中で幼稚園に通わせたいという親の要望を叶えてくれて本当に感謝している。	預かり保育部門の確立は2023年度の大きな目標のひとつでございます。保育部門の教職員たちとの連携を密にし、預かり保育で子どもたちが見せる姿を保護者様にも共有することで、子どもたちへの手厚い支援が叶い、さらに私たち教員にとっては成長の喜びを共感し合うことができます。この感激は幼稚園で働く者の特別な幸福感であると感じます、保護者皆様に感謝申し上げます。
10	仕事などで懇談会や全大会に参加できなかったとき、内容が知りたいです。	今年度より懇談会など会合後の情報共有について「言語化と配信」を目標に挑戦しています。一方で、私たちは保護者様とお会いし、お話しし、共にお子さんの様子や成長を感じ合い、喜び合う機会も大切に考えています。
11	時代に合った教育の提供という点で、外国語教育を取り入れてほしいです。来年度からの英語教育の取り組みは、枠が狭くて受けたくても受けられない人が多くいるのでは無いですか。通常保育の時間に英語教育を組み込まないでしょうか？例えばネイティブの外国人teacherを常勤が難しければ週に何回か来てもらう。英語の時間だけでなく自由時間にも遊んでもらう。遊びの中から少しでも耳が慣れないでしょうか？英語の時間は年中児から全員対象など。	外国語教育に関するご要望はこの10年で大幅に増加しております。また今後の世界情勢や日本の状況を踏まえ、グローバル化への風向きは変わらず、ご要望も増え続けるかと想像しています。日本に生まれ、日本で育つ私たちが、世界を基準としたときに、一体どんなことができるのか、思いをめぐらせています。先の予測はいつまでも確かなものにはなりません、大切なのは「母国語である日本語で主体的に思考し他者とコミュニケーションし合う」「日本のよさを知り、オープンマインドで世界を知る」「音楽（音やリズム）と芸術（造形遊び）は国境を容易に越える！言葉がわからなくても共感し合える！」ことなのかも知れないなあ、などと思ひめぐらせます。国際バカロレア教育は日本語による教育ができることや、これまでのニューライフの保育を変えることなく国際基準の枠組みに当てはめることができるという点で、優れていると感じます。一方で、幼少期に多くの言語のリズムや音に触れることは感覚の経験として重要であるとも感じています。

上記は2024年4月時点で角和が回答できるもののみ掲載しております。上記以外にも多くのご意見をいただきました。教職員一同心より感謝申し上げます。内容は既に教職員間で共有され、新年度の保育の中で試行錯誤しているところがございます。年度を通じて少しずつ保育実践の中で反映させてまいりますので、引き続きのご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。  
園長 角和 麻衣子